

# 丹波篠山市教育大綱

(案)

適用期間：令和元～4年度

## 写真

理念

ーしあわせ多き  
ふるさと丹波篠山を担うー

重点6項目

この大綱は、丹波篠山市が取り組む教育施策の基本方針を示したものです。重点施策として、以下の6項目を掲げます。

1. ふるさと教育
2. 地域に開かれた学校
3. 学力の確立と向上
4. スポーツに親しむ
5. 丹波篠山ならではの文化を育む
6. あいさつと生活習慣

令和元年 月 日

丹波篠山市

## 丹波篠山市教育大綱（案）

### 1. ふるさと教育

<p>(1) 丹波篠山ほど良いところはない・・・日本遺産のまち、農の都</p>	<p>ふるさとを大切にする教育、<b>ふるさとを誇りに思い、自らがいろいろな形でふるさとを担うことの大切さを実感できる</b>教える教育が必要です。丹波篠山市は日本遺産のまちであり、農都、きれいなまち並み、自然や文化など全国に誇り得るものがたくさんあります。</p> <p>ふるさと<b>丹波篠山</b>の良さを学ぶ機会をつくり、<b>丹波篠山</b>ほど良いところはない、<b>丹波篠山</b>が大好きだ、<b>丹波篠山</b>で住みたい、という気持ちを育てる「丹波篠山学」（丹波篠山を学ぶ授業）を行います。</p> <p>また、地域のお祭りなど行事への参加と人々とのふれあい、市内の良い所めぐり、農業体験、篠山の食をいかした学校給食、自然とのふれあいなど、篠山市の良いところをたくさん教えます。</p>
<p>(2) 丹波篠山の食をいかした学校給食・・・地元食材活用率日本一</p>	<p><b>丹波篠山市</b>には、黒大豆や山の芋、お茶、お米、牛肉、<b>旬の野菜</b>など、豊かな風土に培われた素晴らしい食材が数多くあり、<b>学校給食では地元食材を積極的に献立に取り入れています</b>。地元で生産された食材は地元で消費する地産地消の取り組みを積極的に推進しています。</p> <p>この特色ある食文化<b>これら</b>をいかし、「地元食材活用率日本一」の学校給食や、「全国学校給食甲子園」への出場をめざします。</p>
<p>(3) 自然とふれあう教育・・・学校にヒーローをつくらう</p>	<p><b>丹波篠山市</b>には、山、川、田と<b>自然環境が豊かなため、そこに生きる動植物も豊富ですが</b>など、<b>手入れされていない山やコンクリートで固められた川や水路が増えたため自然環境が比較的豊かですが</b>、<b>山に手が入らなくなり、川や水路がコンクリートで固められたため、子どもたちは昔のような自然と触れあう自然体験が乏しくなっています</b>。</p> <p>しかし、<b>丹波篠山の将来を担う子どもたちにこそ、魚採り、虫採りといった自然と触れあう体験を通して、ふるさとへの愛着を育む機会が必要であると考えます</b>。<b>遊びも、たいへん少なくなっています</b>。</p> <p>そこで、学校ごとに、オオムラサキ、オオサンショウウオ、モリアオガエル、オヤニラミ、サギソウ</p>



	<p>など、その地域の特色あるに合った特色のある動物や植物（ヒーロー）に自然に触れながら学び、を育てることで、命の大切さ、思いやりの心、生きる力を育むとともに、ふるさとを大切にする気持ちを高めます。</p>
--	---

## 2. 地域とともにあるに開かれた学校

<p>(1) コミュニティ・スクール・・・市民みんなで学校づくり</p>	<p>丹波篠山市では、新しい学校づくりに向け、「コミュニティ・スクール」の充実設置に取り組んでいます。「学校は市民みんなのもの」という意識を持ち、教員だけでなく、市民、保護者、地域住民が一体となって学校運営に参画する関わる仕組みをつくりま</p> <p>す。</p> <p>これにより、授業の内容に「ふるさと教育」を取り入れることができ、子どもたちの豊かな成長を支えとともに、学校で起こった問題に対し際して、教員だけではなく、地域をあげて早期に問題を解決を図ります。</p>
<p>(2) 高齢者とともに学ぶ・・・おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ</p>	<p>丹波篠山市でも、3世代同居の家庭が少なくなり、家の中で、おじいちゃん・おばあちゃんと関わる機会は減少しています。</p> <p>学校を新たな生涯学習の場とし、高齢者大学を学校で行うことや、子どもたち（中学生・小学生等）と高齢者が同じ校舎で学ぶ「オープン講座」の開催など、ともに学習発表をするなどの機会をつくることによります。</p> <p>それによって、子どもたちの多様な価値観を育み、学習意欲をさらに高めます。</p>

## 3. 学力の確立と向上

<p>(1) 読み、書き、計算、あのねちゃん・・・一人も見捨てない</p>	<p>義務教育を通してその確かな学力を育み高めます。そのキーワードとして、「読み、書き、計算、あのねちゃん」を掲げます。“あのねちゃん”とは、「先生あのね」「お父さんあのね」「お母さんあのね」の問いかけであり、それに問うことによって、「コミュニケーション力」を育み、対話を通してさらに学びを深めます。</p>
---------------------------------------	--

(2) 市内 3 高等学校との連携・・・丹波篠山で高校まで安心	丹波篠山市には、特色のある県立高等学校が 3 校あります。子どもたちがどのような進路を選んでも、市内で安心して高等学校教育を受けることができるよう、充実した高等学校教育への支援、中学校と高等学校の連携に取り組みます。
---------------------------------	--

#### 4. スポーツに親しむ

<p>子どもの頃からスポーツに親しみ、体力をつけ、丈夫な体をつくることは、生涯にわたり心身ともに健やかで幸せな生活を送るうえで大切です。学校での部活動や市民のスポーツ活動の環境を充実させます。</p>
--

#### 5. 丹波篠山ならではの文化を育む

<p>丹波篠山市に住むことの良さが感じられるよう、市民が行う芸術・文化活動を支援し、新たな文化を創造することで、丹波篠山の魅力を高め、丹波篠山が誇る文化力の向上に取り組みます。</p>
--

#### 6. あいさつと生活習慣

(1) あいさつ運動	丹波篠山市では、人権意識やコミュニケーションを高めるため、市民全体でのあいさつ運動に取り組んでいます。地域や学校にも浸透し、「おはよう」「こんにちは」などの元気な声が飛び交うようになりました。この取り組みを継続することで、市民意識の向上とまちの活性化につなげます。
(2) 早寝・早起き、朝ご飯	丹波篠山市では、「ふた葉プロジェクト～ぐっすり眠って、たのしく食べて、たっぷり遊ぼう～」として、家庭と一体となった幼児期からの生活習慣づくりに力を注いでいます。「早寝・早起き、朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりに努めます。